

## 2. 東国分少年広場

市川市北西部に位置、少年野球連盟が設立される以前の昭和53年頃(正確な記録無し)に開設されたと記憶する。当時は市川市第四地区子供会育成会連絡協議会に所属する16団体23チーム(昭和52年市川市第四地区子供会少年野球大会運営委員会設立第一回大会開会)が大会や練習に利用することとなる。この時期には既に宮久保少年広場(現在は廃止)が存在し、後に新設される東国分少年野球場(現三愛幼稚園)と併せて昭和55年に設立された市川市少年野球の第四地区として春夏の大会の大半を第四地区で消化し、その運営に寄与した歴史を持っている。このことで連盟30周年を迎えるにあたり、記念誌に球場紹介をするとのこと、当該広場に遇っては32年を超えて維持管理を行った大勢の方々がある他に、市川在住の地権者の方がお三方いらっしゃいます、特に、その中でも国分在住の山崎様におかれましては、子供達の為にとご尽力を戴きました、又、初代の連盟会長故浮谷貞雄氏とは昵懇の間柄で在り、市川市 ガーデナ市姉妹都市提携20周年記念 市川市少年野球連盟親善訪米研修団顧問して活躍、連盟の設立運営にも多大なご貢献を戴きましたこと、本誌を刊行するに当たり、感謝を申し上げますと共に、忘却してはならない歴史としての一ページを記すものです。



平成21年6月28日 第12回低学年試合風景



昭和57年7月親善研修訪米選手団 周囲は水田と空き地で何も無いのが窺える